

第18回国際高校生選抜書展

草野さん、鈴木さん優秀賞

世界中の高校生が書の腕前を競う「第18回国際高校生選抜書展」(毎日新聞社、毎日書道会主催)の審査結果が20日発表された。県内からは、個人の部で、大垣日大高3年、草野綾菜さん(18)と聖マリア女学院高1年、鈴木満美子さん(16)が優秀賞に選ばれた。そのほか、東海地区団体賞の優秀賞に大垣日大高と県立岐阜高が選ばれた。入賞・入選作品は来年2月2〜7日、大阪市立美術館で展示されるほか、優秀作品は全国数都市で巡回展示される。

個人の部優秀賞

大垣日大高3年 草野綾菜さん(18)



大きな筆を手に喜びを語る草野さん—
大垣日大高で

受賞びっくり

受賞作は中国で見つかった前漢時代の木簡の文字を縦136字、横70字の紙に書き上げた大作。夏休みに朝か

ら夕方まで、毎日書いてくくりした。お母さんた200枚のうちの1枚が一番喜んでくれた。受賞の知らせに「び」と笑顔を見せる。

「頑張った分だけ結果が出るから好き」という書道。母親に勧められて小学校1年から始めた。高校では書道部に在籍し、遅いときは午後8時ごろまで筆を握る。昨年は入選している。

指導する大橋隆教諭は「毎日、こつこつと練習した結果が出た」とたたえる。草野さんは「将来は、毎日書道展に展示されるような書が書きたい」と夢を語る。【子林光和】